

山形県総合交通体系調査とりまとめに係る有識者検討委員会の再開について

1. 設置の趣旨とこれまでの経緯について

暮らしや産業経済を支える基盤である道路・鉄道・港湾・空港等の特性に応じた機能強化の方向性などを検討・整理し、山形県の総合的な交通体系の将来像や施策展開の方向性などをまとめるため、平成 29 年度から令和元年度にかけて調査を実施。

交通に関連する分野の有識者の専門的な意見を取り入れながら、調査結果を取りまとめるため、令和元年度に「山形県総合交通体系調査とりまとめに係る有識者検討委員会」を設置。

- ・ H29 年度～R 元年度 山形県の総合的な交通体系のあり方に関する調査
- ・ R 元年 10 月 21 日 第 1 回山形県総合交通体系調査とりまとめに係る有識者検討委員会
- ・ R 元年 12 月 24 日 第 2 回山形県総合交通体系調査とりまとめに係る有識者検討委員会
- ・ R 2 年 6 月 新型コロナウイルス感染拡大による交通全般への影響が甚大であり、変化の方向性が定かでない中で、総合的な交通体系の将来像を描くことが困難となったことから、とりまとめ策定を見送り

2. 検討の再開について

新型コロナウイルス感染症が 5 類感染症に移行し、経済・社会活動が正常化しつつある中で、交通についても将来像を描くことができる状況になってきたこと、山形新幹線米沢トンネル（仮称）をはじめとする県内交通ネットワークの強化に関する動きに進展がある一方で、人口減少・利用者の減少等が進む中で地域公共交通の持続可能性が課題となるなど、交通を巡る情勢に変化が見られること等を踏まえ、とりまとめに向けた有識者検討委員会を再開する

これまでの調査結果等を参考にしつつ、新型コロナの影響等を含む近年の交通を巡る動向等も踏まえて議論を行い、本県交通の現状・課題や、目指すべき将来像とその実現に向けて取り組む施策等をまとめた「山形県総合交通ビジョン」（仮称）を策定する。

3. 検討のスケジュール

- ・ R 5 年 6 月 22 日 第 3 回山形県総合交通体系調査とりまとめに係る有識者検討委員会
- ・ R 5 年 7 月～9 月 有識者検討委員会の開催（2 回程度）
- ・ R 5 年 9 月～10 月 目途 山形県総合交通ビジョン（仮称）策定

山形県総合交通ビジョン（仮称）イメージ

I 山形県の交通の現状

1. 国内外の広域的な移動
2. 地域間・地域内の移動
3. 物の移動

II 山形県の交通を取り巻く動向・課題

1. 国際ネットワークに関する動向・課題
2. 国内広域ネットワークに関する動向・課題
3. 持続可能な公共交通の構築
4. 安全・安心な交通の構築
5. 環境への配慮
6. 交通に関する新たな技術・制度

第3回有識者検討委員会

III 山形県が目指す交通の将来像

第4回有識者検討委員会

IV 将来像の実現に向けた取組の方向性

V 将来像の実現に向けて取り組む施策

主要施策：第3回有識者検討委員会
施策全体：第4回有識者検討委員会